

新潟県 公民館月報

(昭和33年3月18日第三回郵便物認可)

昭和40年6月号(通刊第148号)

発行所 新潟県公民館連合会
 【新潟市一番町通町・新潟県教育庁社会教育課内】
 【電話・(新潟)5511 内線624・625】
 【郵便 新潟 4094】

発行人 会長 古津 隆策
 編集人 事務局長 本田 常
 一ヶ月一回 15日発行
 【定価1部16円半・年刊120円】
 題名 新潟県公民館月報 第十一号

公民館長殿

公民館の諸方策を討議

評論家 重松敬一氏が記念講演

佐渡 県大会近づく

昭和四十年度県公民館大会が、きたる七月九日、十日、相川中学校で開かれることになった。佐渡における大会は、さき二十五年度の両津大会以来のことである。地元でも受け入れ準備に忙殺されている。参加者は上・中・下越から渡島する者二百名、地元四百名といひが予想され、地元では折りからの観光シーズンとちが合っているため、参加者の把握が、大会の進行に影響を及ぼすことも考えられるので、参加者は期日厳守で明確な申し込みをほしいと希望している。

最終日の記念講演は、教育評論家の重松敬一氏に決定した。

この大会の成果は、きたる九月二、三日甲府市において開かれる国公立大会に反映せしめ、さらに十月十六、十七、十八日佐賀市において開催される全国大会に積み上げていくので、参加者の熱心な討議が期待されている。

第16回新潟県公民館大会要項

1. 趣旨

われわれは、過去数回の大会において、めまぐるしい社会構造の急変と産業経済の進展のなかにあつて、地域社会の生活文化の発展に資するため公民館はいかにあるべきかについて研究討議を重ねてきた。その結果、現状の反省と将来への展望に多大の手がかりを得た。しかしながら公民館の諸業務を改善してゆくには、いまだ幾多の障壁がたちあふまがっている。わ

れわれは、この壁を打ちこむため、本年も一層研究をすすめ、全国共通主題である「公民館は、地域住民のよりよい生活を築くために、どのような方法を講ずればよいか」を研究し、本県公民館の水準向上に努力するとともに、社会教育の発展に寄与せんとするものである。

2. 大会主題

「公民館は、住民のよりよい生活を築くために、どのような方法を講ずればよいか」

3. 主催

新潟県公民館連合会、新潟県教育委員会、下越地区公民館連絡協議会、相川町教育委員会

4. 主 管

佐渡郡 西津市公民館連絡協議会

5. 後 援

新潟県市長会、同議会議長会、同町村会、同町村議長会、県教育委員会、県PTA連絡協議会、県新生活運動協会、県市町村教育委員会連合会、県社会教育委員連絡協議会、新潟放送、NHK新潟放送局、新潟日報社、朝日新聞支局、毎日新聞支局、読売新聞支局、サンケイ新聞支局

6. 期 日

七月九日(金)、七月十日(土)、七月十一日(日)

7. 会 場

佐渡郡相川町立相川中学校 相川公民館

8. 参 加 者

市町村公民館長、同公民館主事、同公民館連絡協議会委員、市町村同議会議員、市町村教育委員会及び関係職員、同社会教育委員会、同社会教育主事、青年団員、婦人会員、PTA会員、新生活運動・普及推進運動関係者、学校長及び教職員、一般希望者

9. 記念講演

「政治と社会教育」
 教育評論家 重松敬一氏

10. シンポジウム

テーマ 「今後の公民館について私はこう思う」
 講師 新潟日報論説委員 本間欣爾氏、相川町長 西野善兵衛氏、県教育次長 吉川浩次氏

11. 分 科 会

司会 県公連副会長樋口弘雄氏
 主題(大会主題と同じ)

12. 参加申し込み

各公民館に申し込み、佐渡郡相川町相川公民館内「県公連大会」係へあてて申し込みをすること。

13. 宿 泊

宿泊希望者は、泊二食付一、五〇〇円であせんす。ただし、予約金三〇〇円を申し込みと同時に前納すること。(予約金は、宿泊費の一部に充当する)観光シーズンで混雑をまねくので、六月十五日以降の申し込みは受けつけない。

14. 視察見学

大佐渡スカイラインコース(新潟・秋田博物館、相川鉱山、スカイライン(両津)……七月十日、阿波野十七時の至三便に接続料金九六〇円(新潟新潟船費を含む))

15. 日 程

第一日(七月九日・金) 11時受付(10時)式典(1時30分)シンポジウム(2時30分)部会討議(3時40分)5時40分郷土芸能紹介(6時)第二日(七月十日・土) 11時部会報告(9時)記念講演(10時)講師(11時30分)閉会(12時)視察見学(希望者)

を講ずればよいか」

新潟県公民館連合会、新潟県教育委員会、下越地区公民館連絡協議会、相川町教育委員会

佐渡郡 西津市公民館連絡協議会

新潟県市長会、同議会議長会、同町村会、同町村議長会、県教育委員会、県PTA連絡協議会、県新生活運動協会、県市町村教育委員会連合会、県社会教育委員連絡協議会、新潟放送、NHK新潟放送局、新潟日報社、朝日新聞支局、毎日新聞支局、読売新聞支局、サンケイ新聞支局

七月九日(金)、七月十日(土)、七月十一日(日)

佐渡郡相川町立相川中学校 相川公民館

市町村公民館長、同公民館主事、同公民館連絡協議会委員、市町村同議会議員、市町村教育委員会及び関係職員、同社会教育委員会、同社会教育主事、青年団員、婦人会員、PTA会員、新生活運動・普及推進運動関係者、学校長及び教職員、一般希望者

「政治と社会教育」
 教育評論家 重松敬一氏

テーマ 「今後の公民館について私はこう思う」
 講師 新潟日報論説委員 本間欣爾氏、相川町長 西野善兵衛氏、県教育次長 吉川浩次氏

司会 県公連副会長樋口弘雄氏
 主題(大会主題と同じ)

各公民館に申し込み、佐渡郡相川町相川公民館内「県公連大会」係へあてて申し込みをすること。

宿泊希望者は、泊二食付一、五〇〇円であせんす。ただし、予約金三〇〇円を申し込みと同時に前納すること。(予約金は、宿泊費の一部に充当する)観光シーズンで混雑をまねくので、六月十五日以降の申し込みは受けつけない。

大佐渡スカイラインコース(新潟・秋田博物館、相川鉱山、スカイライン(両津)……七月十日、阿波野十七時の至三便に接続料金九六〇円(新潟新潟船費を含む))

第一日(七月九日・金) 11時受付(10時)式典(1時30分)シンポジウム(2時30分)部会討議(3時40分)5時40分郷土芸能紹介(6時)第二日(七月十日・土) 11時部会報告(9時)記念講演(10時)講師(11時30分)閉会(12時)視察見学(希望者)

公民館職員から 談話会

よしのを見た道
導き自身が、打つ
手を肩失っている
というのが実状で
ある。これを悩ま
が文部省に反映し
ているのだと思
う。しかし、い
文部省に出した
しても、それを
茶の自由な民衆
であり、人にほ
れき通を権利が
ある。家徽とい
うのも憲法に
とおり、エス
かっていること
だ。また愛国心
などというもの
そかにもつべき
のだと思ふ。

ハッチンス氏の作が選進し活用
されている。参考までに読み上
げてみる。

- ①健康の法則 ②自製の法則
- ③自持の法則 ④信頼の法則
- ⑤義務の法則 ⑥公平なる遊戯
の法則 ⑦正直なる仕事
の法則 ⑧共同作業の法則
- ⑨親切の法則 ⑩忠誠の法則

子になっており、きわめて具
体的な生活基本として綴られて
ある。その最初の二つは「善
良なるアメリカ人である私た
の国がますます輝くなら、善
なるために、めいめいが強
く立つ人間になるよう努めま
す。それ故に私たちは、最も善
い米国人が、いつも守ってきた
正しい生活の法則を守ること
を神の前に誓います」となつてお
り、この法則が、日本の「人間
像」と違つては、各項とも
に合理的でなく、他動的でもな
く、自発的で能動的であるだけ
に各法則に力がこもる生命が動
いているように感じられる。

個人意志が先
そのようなものなら賛成した
くなる。畢竟のてはなにも簡
単である。「人間像」は美利
ないまの若い人には受け入れら
れないのではないか。

丸田「誰しもこうならたいと思
う点も多いが、命令的なものは
くないし適用されるて恐ろしい
ので反対である。」

川上「底にあるものは何か、も
と時間をかけてみる必要があ
る。(文責・編集部)

大臣が全焼 牧村公民館

昭和38年度優良公民館として
文部大臣表彰を受けた東根城郡
村公民館(館長小林徳良氏)が全
焼した。

この日は午後0時20分
一階直室屋根裏附近から出火
発見と同時に消防本部に連絡、消
火活動を行なったが防ぎきれず、

お茶っぴ子

6. 茶 葉 うつがいかす



皆川アメリカ人は、すでに三十
年前に、米国の青少年に対する
道徳宝典「なるものが十万人
の懸賞懸賞でウィリアム・J・

「市民の要望が、公民館
は、確かにそういう気もあ
るのかも知れない。しかし私の
町のまじりに公民館でさえも
独立の施設もたす、問答のり
部屋で一人か二人の職員が公
館のことばかり、社会教育
金校についてコチャコチャと
茶をたべているようなところ
の場合は、そんな飛躍した考え
は想像もできない。私どもは
や県が指導している社会教育
政機部の整備も結構だが、ま
第一住民の自主的な所と
なる公民館の建設が先行しな
ればならないと考えている」
このやりとり、どうも後者の
の意見が賛成する者が多いもの
と考えたかったが、参加者の反
映はまるで感じられなかった。
逆に、最近新築公民館を建て
もらったある町の公民館主事
が、こんな水をさすようなこと
をいった。

「市民の要望が、公民館
は、確かにそういう気もあ
るのかも知れない。しかし私の
町のまじりに公民館でさえも
独立の施設もたす、問答のり
部屋で一人か二人の職員が公
館のことばかり、社会教育
金校についてコチャコチャと
茶をたべているようなところ
の場合は、そんな飛躍した考え
は想像もできない。私どもは
や県が指導している社会教育
政機部の整備も結構だが、ま
第一住民の自主的な所と
なる公民館の建設が先行しな
ればならないと考えている」
このやりとり、どうも後者の
の意見が賛成する者が多いもの
と考えたかったが、参加者の反
映はまるで感じられなかった。
逆に、最近新築公民館を建て
もらったある町の公民館主事
が、こんな水をさすようなこと
をいった。

